

# コンパクトシティ・プラス・ネットワークの まちづくり

## 立地適正化計画に取り組んでいます

都市計画課都市計画係 ☎(63)2209

現在、鹿沼市では、市が抱える課題に対応し、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めるため「鹿沼市立地適正化計画」を策定・公表しています。

今回は、立地適正化計画の基本的な考え方となっている、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの考え方について解説します。

### 立地適正化計画とは？

立地適正化計画は、「都市再生特別措置法」に基づく計画です。

人口減少や高齢化の中でも、将来にわたって持続可能なまちづくりの実現を目指すし、居住機能や医療や福祉・商業などの都市機能の誘導、公共交通の充実によって「まちの機能がコンパクトにまとまり、交通のネットワークがよい」まちづくりを推進していきます。

### 市が抱える課題

- ◆人口減少や少子高齢化の進行
- ◆市街地の拡散による人口の低密度化や空き家の増加
- ◆厳しい財政状況

### このままだと

- ◆人口減少とともに、人口密度も低下し、市全域が衰退する恐れがあります。
- ◆都市の生活を支える機能が低下していきます
- ◆道路や上下水等、インフラの維持、医療・福祉・子育て支援・商業等の生活サービスの低下や維持に対する懸念
- ◆地域経済が衰退していきます
- ◆地域産業の停滞や中心市街地の衰退

### そこで

まちの機能がコンパクトにまとまり交通のネットワークがよい「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」が重要になってきます。

## 「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」のイメージ図

### コンパクトシティ

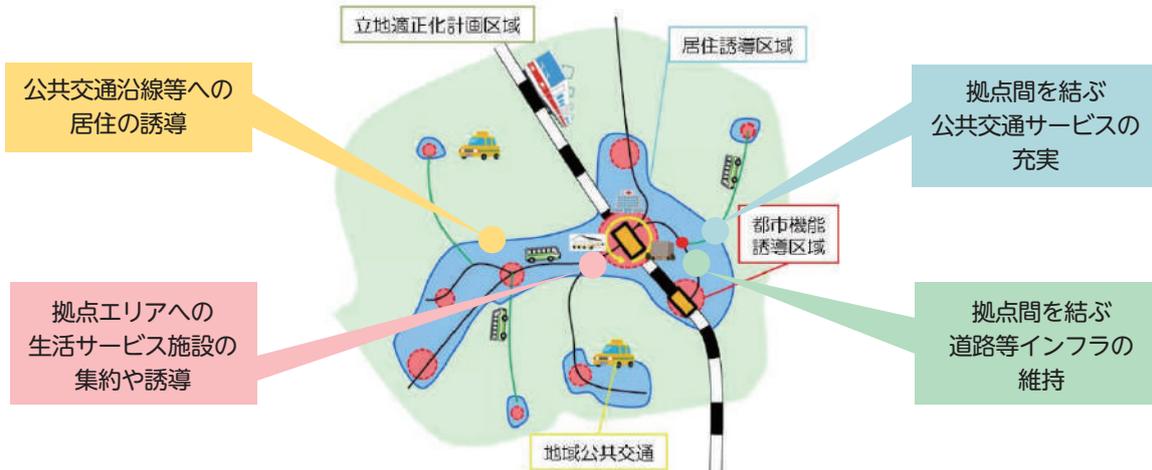
拠点と位置づけた、中心市街地、生活交流、地域生活、工業系・流通系市街地をコンパクトにまとめる。

### プラス



### ネットワーク

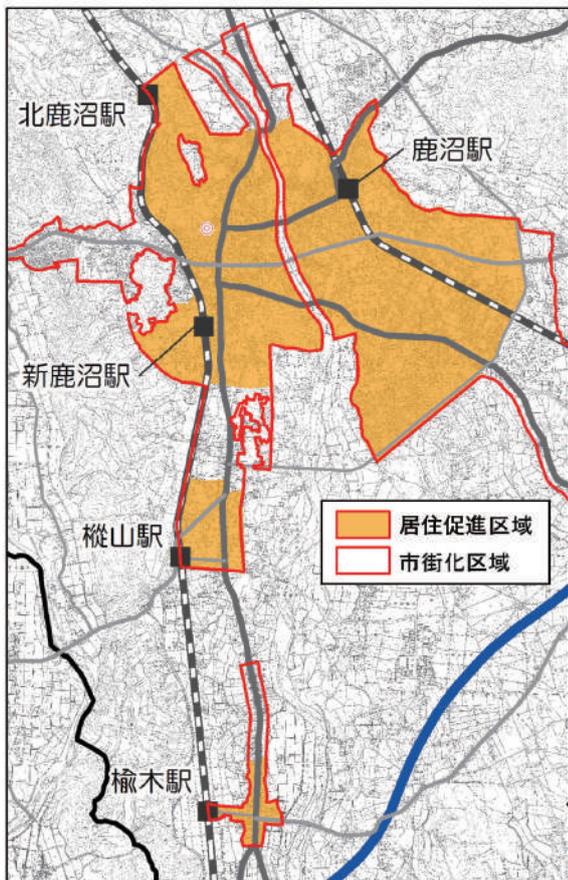
拠点間を、道路や公共交通等によって結び、相互の連携を図る。



# 立地適正化計画では、市内で2つの誘導区域を設定しています

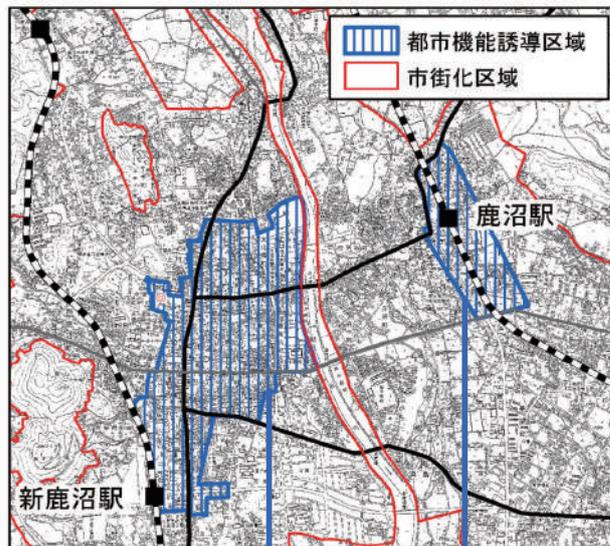
## 居住促進区域（居住誘導区域）

人口密度や日常生活を支える  
身近な施設を維持するエリア



## 都市機能誘導区域

左図のエリアの中でも、まちの拠点として、多くの市民の利用が想定される施設を維持・誘導するエリア



### 中心部地区

<維持・誘導施設>

- ・病院
- ・百貨店
- ・市役所
- ・図書館
- ・情報センター
- ・美術館・博物館等

### 鹿沼駅周辺地区

<誘導施設>

- ・病院

教えて！

## 立地適正化計画

区域内で生活すると  
こんなメリットが



事業所等が出店する際に、補助金の限度額が優遇される場合があります（詳しくは、P8）  
② 創業者支援をご覧ください。

郊外に住んでいる人は、まちなかに引っ越さないといけないの？

今住んでいる場所が「居住促進区域」外であっても、引っ越す必要はありません！

この計画は、促進区域外での暮らしを否定するものではありません。

ただ、住まいを見直すなど生活環境を変える際には、この計画で示したまちづくりの方針を意識して、居住地についてご検討ください。



ご存知ですか？  
UR都市機構とのまちづくりに関する連携協定

市では、UR都市機構と「まちづくりに関する連携協定」を令和3年12月に締結しています。

銀座通りの空き店舗に、まちづくりの拠点「kanuma commons」を整備し、民間事業者や行政、市民のみなさんとともにさまざまなイベントを開催し、アイデアの共有や勉強会などを行っています。



スノーピーク鹿沼

採用試験  
包括連携

立地適正化計画

企業支援

空き家  
フラッシュ

市民のひろば

みんなの健康

お知らせ

食育